

締付トルク(電線接続端子ねじ)

接続電線

器種	裏面形						裏面・埋込形			
	ソルダレス	M5	M6	M8	M10	M12	M6	M8	M10	M12
安全ブレーカ	150~200									
30AF、50AF		250~350					250~350			
B-32E・33E、 B-32EA		250~350					400~500			
B-52EA、 B-52E・53E B-52EH・53EH		250~350					400~500			
B-52FKA・ 53FKA・54FKA			450~500					550~750		
B-62E・63E			400~500				400~500			
100AF				550~750					800~1000	
125AF、150AF				550~750						1300~1600
225AF、400AF					2000~2700			1000~1300		
B-222E・223E、 B-252E・253E B-222SHA・ 223SHA				800~1300					2000~2700	
B-402S・403S 600AF~1200AF				1000~1300				1000~1300		
						4000~5000				4000~5000

遮断器の定格電流(A)	600Vビニル電線(mm ²)
15	φ1.6mm
20	φ2.0mm
30	5.5
40	8
50、60	14
75	22
100	38
125	50
150	60
175	80
200	100
225	125
250	150
300	200
350	250
400	2×100
500	2×150
600	2×200
800~1600	電流密度1.5~1.8A/mm ² の銅帯を接続して試験すること
1800~3200	電線密度1.0~1.3A/mm ² の銅帯を接続して試験すること

■9.8N-cmは1 kgf-cmです。

■ご注意

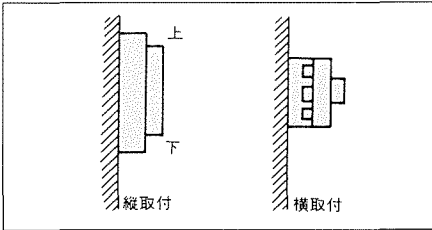
遮断器の特性は右表の試験電線で試験したものです。(JIS C8370等)この電線より細い配線を使用されると遮断器の温度上昇、

不要動作を招くことがあります。ご注意ください。

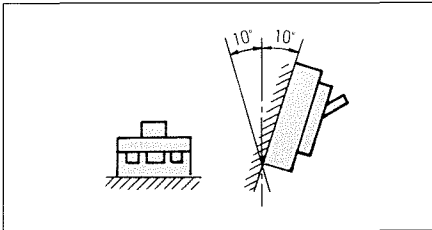
使用上のご注意

取付方向

■良い例



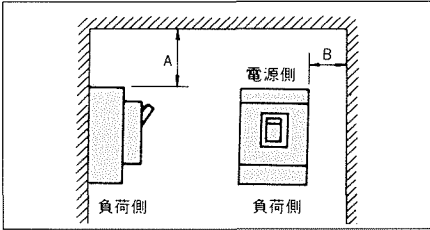
■悪い例(完全電磁形)



■ご注意

遮断器は鉛直面取付が基本です。熱動形、熱動電磁形の場合は、その他の取付面でも問題はありません。完全電磁形のものにおいては、鉛直面取付(10°以内)以外の取付では特性が変化しますので、ご注意ください。

アークスペース



フレームサイズ	最小寸法(mm)	
	A	B
75AF以下	30	25
100~250AF	50	40
400~1200FA	80	50
1400AF以上	150	100

■ご注意

遮断器が大電流を遮断したとき、電源側の排気孔からアークガスが噴出します。この排気孔のすぐ近くにしゃへい物や導電材がありますとこの部分でアークによる短絡や、地絡事故を起す可能性があります。このため遮断器取付にあたっては表に示すアークスペースが必要です。

周波数による特性変化

高周波電流(400Hz、750Hz等)で使用される場合、うず電流、表皮効果、ヒステリシス損等による発生熱は熱動形でも影響があり400Hzでは時延引外し電流が約80%に低減されます。また、鉄損による吸引力低下により瞬時引外し電流は大きくなり、400Hzでは60Hzの約2倍程度になりますので使用にあたってはご注意ください。

完全電磁形においては可動鉄心における発熱、うず電流損による吸引低下等により使用はできません。

JIS C8370 常規使用状態

■ご注意

遮断器は次の常規使用状態で使用されるものとする。

■周囲温度は最高+40°C、最低-5°Cの範囲内。ただし24時間の平坪値は+35°Cを超えないものとする。

■相対湿度は45~85%の範囲内。

■過度の水蒸気、油蒸気、煙、じんあい、塩分、腐食性物質等が存在しないふん囲気。

■標高2000m以下。

■異常な振動及び衝撃を受けない状態。